

向島の催し、ニュースは、愛隣館研修センターへお知らせ下さい。

# 愛隣館研修センター ニュース

社会福祉法人イエス団  
愛隣館研修センター  
〒612 京都市伏見区向島二の丸町151  
TEL 075-621-3849  
FAX 075-621-1579  
発行 平田 義  
編集 集 恵 大一郎



## ご協力ありがとうございました

## につこりフェスティバルへの

去る十月二十七日(日)、絶好の秋晴れの空の下、二年ぶりの「向島・につこりフェスティバル」がにぎやかに開催されました。「主催＝当フェスティバル実行委員会」このフェスティバルには、主に向島で生活する様々な立場の人々が出会い、お互いを知り、交流を深め、「障害」を持つ者もそうでない者も、また、お年寄りや小さな子ども達も、生き生きと暮らせる街づくりを目指そう、そしてこの愛隣館研修センターのことを少しでも地域の人々に理解して頂こうという思いが込められています。

当日は、延べにして約400名以上の方々が集ってくださり、皆様のご好意でお寄せ頂いた物品「バザー」も大にぎわい。今年は07-157による集団食中毒が世間を賑わしたこともあり、大事をとって調理室以外での調理は見合わせました。そのため、恒例の焼きそばやチヂミは中止。そのこともあつてか、炊き込みご飯、おでん、サモサ、唐揚げといったところが、軒並み午前中で売り切れてしまいました。

※ 次頁へ続く ※

### ◆ 当日参加された主な団体 ◆

(順不同)

ふうせん文庫、手話サークル、あそぼう会、ベテスタの家、ベテスタの店、めぐみホーム、ペンギンの家、JCI L、愛隣館研修センター、世光教会有志、

また、二階の喫茶コーナーにて、午後一時より始まった「将棋・オセロ」大会の方も例年どおりの大にぎわい。腕の競いあいが繰り広げられました。

廊下では、今年より始まった入浴サービスの案内をはじめ、愛隣館研修センターの様々な活動を紹介するパネルを展示。少しはこのセンターのことについてお分りいただけます。そして、クライマックスはなんとといっても、恒例の大にぎわいとなりました。「大ビンゴ大会」。今年も豪華？賞品を虎視眈眈と狙う熱き血潮みなぎる老若男女であふれかえりました。ビンゴにならなかった人の暴動がおこなうのでは？と一時は冷や冷やものでした。なお、収益の方は二六〇、四九一円計上させていただくことが出来ました。今回は、当センター増改築にかかる借入金返済及び、これから新たな展開に備えて、有効に使わせていただくようと考えています。

ご献品いただいたり、当日のお手伝い、その他様々な形でご協力くださった方々に十分お礼を申し上げることに出来ず、失礼を致しました。この場を借りまして、改めてお礼申し上げます。皆様どうもありがとうございます。これからも、地域の方々にもありがとうございました。二階に出来るだけ応えていきたいと思えます。どうぞ、これまでと変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

# イチ口、淡路島へ！

～ に行ってきました！恒例・デイサービス一泊旅行 ～

去る十一月十九日(火)、二〇日(水)の一泊二日の日程で、今年淡路島の方に、デイサービスの大旅行に出掛けました。名付けて「瀬戸内の海の幸とうずしお温泉の旅」です。「障害」を持った者十一名とスタッフ十一名の総勢二十二名。まずは、昨年同様近鉄「向島」駅に午前十時三〇分に集合。京都市洛南身体障害者福祉会館よりお借りしたマイクロバスと当センター自慢の三口つきワゴン車一台に分乗、一路淡路島を目指します。名神高速道路を経由し、阪神高速、第二神明を通って、途中明石のサービスエリアで昼食をとり、フェリー乗り場の明石港に到着。再来年に開通予定の明石大橋の下をフェリーでくぐり、淡路島にやってきました。

そして、その淡路島の岩屋港から目的地の西淡・「慶野松原荘」まで、軽快に車を走らせませす。途中、車窓には美しい海岸線の風光明媚な景色が飛び込んできます。その眺めは、さながらアメリカのウエストコーストのよう(ウソ)皆さん一様に、「きれいやなあ。きてよかったなあ。」を連発。とても喜んでくださいました。

お宿に着くと、早速お目当ての「うずしお温泉」を満喫。夕食までかなり時間があつたのでゆつたりとした気分、心ゆくまでそのお湯を楽しむことが出来ました。そして、おフロのあとは、待つてました、タイやヒラメの海の幸と、口の中に入れた

途端とろけるような柔らかさ、舌触りの「淡路ビーフ」のしやぶしやぶ。昨年の「カニ」も最高でしたが、今回の夕食もそれに勝るとも劣らず、まさに「絶品」と呼ぶにふさわしいもので、参加者一同の満足気な顔。めでたし、めでたし。

翌日は、時間の関係でほんモノのうずしおが見れませんでしたので、少しでもその気分を味わおうということで、「うずしお記念館」へ。3Dの迫力ある映像は、どう考えても淡路島観光協会のPRビデオではないかとの声もありました。各自堪能。間髪入れずに隣り合わせの「人形浄瑠璃」へ。これまた間髪入れず、二分で出てきて階上の展望台へ消えていかれた方もおられます。せわしなかつたですが、概ね満足。地中海気分、たらくお土産も買込んで、今年もとても楽しい旅になりました。さあ、来年はどこへ行こうかしら……

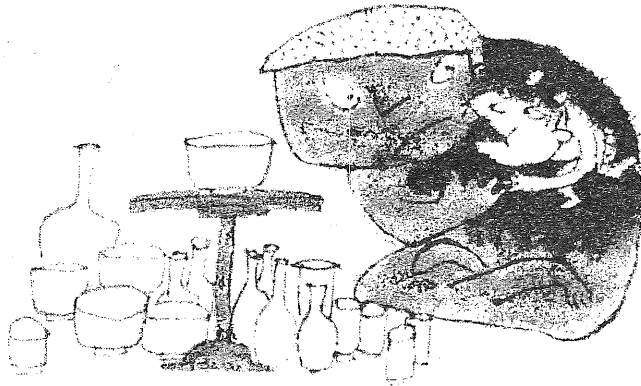


創作童話

# 骨食い太郎とチヨロマツ

連載 第 3 回

松 下 かつとし



何年かたち、チヨロマツは元氣にはたらいして、たくましい大人になりました。骨食い太郎も、チヨロマツの元氣におされて、おとなしくしていたようです。ところがある日、

「ボキッ」という音とともに左腕が折れてしまったのです。骨食い太郎の

よるこぶ声が聞こえました。一ワツハツハツ。大成功、大成功。オーイ、チヨロマツ。おいからのいうことをきかなくなったぞ。チヨロマツは仕事ができなくなつて、家でじつとしていました。そのあいだに、骨食い太郎は大あばれ。骨食い太郎よ、

いつまでオレの体の中であばれ続けるつもりなんだ。いいかげんに別々の道を歩もうじやないか。いやなことだヨ。ここはとっても気持ちがいい。ヨシ、それならひとつ、おまえとこんくらべをしようじやないか。おまえがねをあげてオレの体から出ていくか、オレがあきらめるか。それから、チヨロマツと骨食い太郎の、長い長い、こんくらべがはじまりました。

「腕が使えなくなつたら、手先のできる仕事をしよう」

チヨロマツは絵師の仕事をはじめます。すると骨食い太郎は、チヨロマツがいたがるところに噛み付いて

「手先の仕事も無理なら、足を使ってできる仕事をしよう」

チヨロマツは御用ききの仕事をはじめます。骨食い太郎は足の骨にかじりついて、また、じゃまをします。

「あしを使う仕事もダメなら、目を使ってできる仕事をしよう」

チヨロマツは焼き物屋につとめて、ちやわんやとつくりひびが入っていないかどうか調べる仕事をします。

お知らせ

恒例の「おせち」は、

今年度は中止です。

例年、向島地域で、お一人暮らしの方々に、お年寄りの方々、「障害」の方々に、野の百合幼児園にて長年活動しておられる「体操サークル」の方が中心となつて「おせち」を調理し、希望者にお届けさせていたのですが、今年度は、止むを得ず中止とさせて頂きます。

皆様方も既にご承知のように、今年度は病原性大腸菌O-157によります食中毒が猛威をふるい、多くの被害が出ております。何とか、例年どおり、皆様方のご希望にそえないかと検討を致しましたが、万一の事態を想定したとき、中止の決定を下さざるをえませんでした。

いつものように楽しみにされていた方々には、誠に申し訳ございませんが、今般の事情をご理解頂きますよう、切にお願い申し上げます。

# 96 クリスマス献金に

## ご協力をお願い致します

日頃は、当センターの活動をご理解頂き、様々な形でご支援頂きまして誠にありがとうございます。

うのが実情です。また、今後の新しいニーズに对应、着実な将来の体制固めのために、貯えも必要としております。

皆様様に支えられ、今年度の五月からは、新たに入浴サービスも始めさせて頂くことが出来ました。また、色々と地域の中でも交わりの輪が広がっております。

何かと物入りの時期に加え、これまでも多大なるご支援を頂いている皆様方に、新たなお願いを申し上げるのは非常に心苦しいのですが、右のような事情と趣旨をご理解頂き、今年度「愛隣館研修センタークリスマス献金」にご協力頂きますよう、改めてお願い申し上げます。

### 《クリスマス献金・要項》

※目的 当センター増改築にかかる借入金の返済、及び、今後の事業展開に備え、地域福祉の向上に寄与するため。

※目標額 200万円

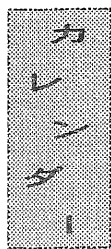
※金額、口数 特に、金額、口数の制限はありません。

※送金の方法 左記郵便振替口座の方にご入金いただくかご連絡いただければ、こちらから集金に伺わせて頂きます。

□座番号 0102015139321  
□座名 社会福祉法人イエス団  
愛隣館研修センター

※ 当センターは、社会福祉法人の傘下施設ですので、ご寄付について、所得税の控除対象となります。免税額取証が必要な方は、どうぞ、その旨お申し付けください。

※ その他、ご不明な点、詳しいことにつきましては、お気軽に当センターの方までお問い合わせください。



◇年末大掃除◇ 十二月二十八日(出) 午前十時よりキチンと片付くまで? センター年末恒例の風物詩となりました大掃除。お手伝いをしてくださる方、大歓迎です。

◇年末・年始休館日◇ 十二月二十八日(出)(大掃除の日)より、新年一月五日(日)まで。六日より、平常通り開館いたします。

### 編集後記

業害エイズでの許せない不手際に続き、今度は厚生官僚と特定福祉グループとの「癒着」が明るみに出ました。彼らは人の「生命」を預かることの「重み」をどう捉えているのでしょうか? 厚生省の管轄にある福祉業務に携わる我々にとっても、本当に腹立たしいかぎりです。

クリスマス、年末・年始を控えセンターの方も一段と慌ただしさを増してきた今日この頃です。

みな様どうぞよいお年を!